

世代間交流フェスタ

三陸めぐり逢いラジオ in 岩泉



「世代間交流ふれあいフェスタ」の会場からお届けする「三陸めぐり逢いラジオ」7回目は23日、岩泉町公民館から生中継。今回は、大塚富夫、水越かおる両アナウンサーがおじゃましました。食のコーナーでは龍泉洞黒豚の豚汁、田楽豆腐など岩泉ならではの郷土食のお振る舞いが行われました。ステージでは、岩泉高校ブラスバンド部の演奏、中川愛子社中と福田こうへいさんの民謡ステージも行われ、たくさんの人たちが交流イベントを楽しみました。



ステージでは、岩泉高校ブラスバンド部の演奏、中川愛子社中と福田こうへいさんの民謡ステージも行われ、たくさんの人たちが交流イベントを楽しみました。

岩手の秋の味覚を東京でPR

三陸・大船渡 東京タワーさんままつり



大船渡で水揚げされたサンマが、東京タワーで無料で振舞われました。4回目となる「三陸・大船渡 東京タワーさんままつり」には、今年も大船渡港に水揚げされたばかりのサンマが、東京タワーの高さにちなんで



3333匹用意されました。きょうは雨が降るあいにくの天気でしたが午前4時から並んだ人を先頭に多くの人が会場を訪れサンマの炭火焼を味わいました。(9/23 岩手日報 IBCニュースより)



2015年の完成目指す

高田松原の防潮堤 復旧本格化

去年3月の大津波によって防潮堤が破壊された、陸前高田市の高田松原で、県は本格的な復旧工事をスタートしました。およそ230億円をかけ、二重の堤防を築きます。25日は着工式が行われ、工事を行う県の上野副知事や、陸前高田市の戸羽市長などが工事の無事を祈りました。防潮堤はおよそ2キロにわたって二重に築かれ、2015年度の完成を目指しています。(9/25 ニュースエコーより)

陸前高田発

被災地の中学生が未来の自分にメッセージ



将来の自分に今の夢や希望を振り返ってもらおうと、陸前高田市の中学生がビデオメッセージを撮影しました。これはパナソニックが被災地支援プログラムの一環として行ったもので、陸前高田市立第一中学校の2年生、75人が撮影に取り組みました。生徒たちはプロのスタッフから撮影の手順を教わりながら、10年後の自分に伝



えたい今の思いや将来の夢をカメラに向かって話しました。またパナソニック専務で高校野球解説者としても知られる鍛冶舎巧さんが特別授業を行い、監督としての経験談を交えながら夢の実現へ目標を設定し続けることの大切さを生徒たちに伝えました。(9/26 岩手日報 IBCニュースより)

みやこ災害FM発

「さんりく元気ラジオ！」



臨時災害FM局をつなぐIBCラジオ「さんりく元気ラジオ！」(毎週水曜日・ワイドステーション・午後3時半～)26日はみやこ災害FM発。

9/29(土)・30(日)に開催される「復興元年 第18回 宮古市産業まつり」について紹介しました。今回は宮古市の姉妹都市・沖縄県多良間村を始め、震災をきっかけに縁ができた全国各地からの出店やステージイベントもあり、元気な宮古を発信する産業まつりになりそうです。

宮古発

「元気発信！ラジオ希望堂」

『被災地で前向きに取り組んでいる人の姿を紹介する内閣府提供「元気発信！ラジオ希望堂」。(ラジオ毎週土曜午後0時40分～)今週(9/29)は、宮古市の道の駅・みなとオアシスみやこ、「シートピアなあと」に勤務する、甲斐谷成美さんに今後の目標など伺います。

「IBC復興支援室だより」では、ラジオ、テレビなどIBCを通じて放送する、震災復興に関するさまざまな情報をピックアップし、リリース等を通じて定期的に発信・紹介します。IBC復興支援室事務局(ラジオ放送部内) 019-623-3122